

**I. 民数記が単にさまようことや再三の失敗の書であると言うことは正確ではありません。民数記は勝利と栄光の書です:**民 1:1 それから、…エホバはシナイの荒野において、集会の天幕の中でモーセに語って言われた、**2**「イスラエルの子たちの全集団を、その家族ごと、その父祖の家ごとに、すべての男子の名の数にしたがって、その総数を数えなさい。**3** あなたとアロンは、イスラエルにおいて二十歳以上で、すべて兵役に就くことができる者を、その部隊ごとに数えなければならない」。

**A.** 民数記は栄光の光景を提示しており、それには旗と旗じるしがあり、軍隊の編成と秩序があります。神が地上で住まいを持つだけでなく、軍隊も持つことは、栄光なことでした。民 2:17 次に、集会の天幕は、各営所の中央にあるレビ人の営所と共に立立しなければならぬ。彼らは営所するのと同じように、それぞれ自分の場所で、彼らの旗の下で立立しなければならぬ。

**B.** 民数記は初めから終わりまで栄光の書です。初めに神は軍隊を編成し、終わりにはこの軍隊によって征服された地を分配する記録があります。

**C.** 民数記の絵が見せているのは、三一の神と彼の選ばれた民が共にミングリングされて一つの实体となり、神が地上で行動し、彼の敵を征服して、地を再び獲得し、彼の永遠の定められた御旨を完成するということです。【月】

**II. 民数記の中心思想とは、キリストは、神の民の生活の意義、証し、中心であり、彼らの行程と戦いの指導者、道、目標であるということです:**

**A.** 民数記で、キリストは神の民のための生活の意義として啓示されています:**1.** 証しの箱は、証しの幕屋の中心でした。**2.** 幕屋と共にある箱は、イスラエル人の生活の意義でした。**3.** 私たちの人生の意義は、神がキリストの中で私たちの中へと入り、私たちを通して表現されるということです。コロサイ2:9 なぜなら、キリストの中には、神たる方の全豊満が肉体のかたちをもって住んでいるからです。1:27 神は彼らに、異邦人の間にあるこの奥義の栄光の豊富がどんなものであるかを、知らせたいと願われました。それはあなたがたの内にもいますキリストであり、栄光の望みです。**4.** 私たちは神のエコノミーにおけるキリストのビジョンを見るとき、キリストご自身が宇宙の目的であり、私たちの人生の意義でもあることを認識し始めます。【火】

**B.** 神の民の生活の意義であるキリストは、神の証しです:

**1.** 箱はキリストを予表するので、イスラエル人の生活の意義は、神の証しとしてのキリストを顧慮することでした。

**2.** 旧約で、証しは律法を指しています:**a.** 律法が書き記された二枚の板は証しと呼ばれ、箱の中に入れられました。

**b.** 証しが箱の中に入れられたので、箱は証しの箱と呼ばれました。**c.** 神の律法は、神が何であるかの証しです。それは、私たちの神がどのような神であるかを告げています。

**d.** 律法は、神が何であるかの描写として、神のすべての神聖な属性における神の具体化としてのキリストを予表します。

**C.** キリストは神の民の中心です:**1.** これは、イスラエルの子たちが幕屋の周りに宿営した方法によって描写されています。**2.** 今日、召会生活の中で、私たちはキリストを私たちの唯一の中心とすべきです。

**D.** キリストは指導者、道、目標です:**1.** キリストは、行動し、活動し、常に前進している方です:**a.** キリストは前進するとき、私たちの指導者、私たちの道、私たちの目標です。

マタイ23:10 また、教師と呼ばれてはならない。なぜなら、あなたがたの教師はひとりであり、それはキリストだからである。

ヨハネ14:6 イエスは彼に言われた、「私は道であり、実際であり、命である。私を通してでなければ、だれも父に来ることはない」。**6.** 召会における唯一の指導者はキリストです。キリストは彼の道で、彼の目標に向かって、私たちを導いています。道も目標も実はキリストご自身です。

**2.** ピリピ3:12~14は、キリストが私たちの目標、私たちの目的であるべきであることを示しています。キリストは、私たちがそれに向かって前進する目標です。

ピリピ3:12 私は、すでに得たとか、すでに完成されているとか言うのではありません。私は、それを捕らえようと追い求めているのですが、それは私が、キリスト・イエスによって捕らえられているからです。**13** 兄弟たちよ、私はまだ自分自身、捕らえたとは思っていません。ただ一つの事、すなわち、後ろにあるものを忘れて、前にあるものに向かって体を伸ばしつつ、**14** キリスト・イエスの中で私を上を召してくださった神の賞を得るために、目標に向かって追い求めています。

**E.** もしキリストが私たちにとってこれらすべてでなかったなら、神が地上で立場を得て、神の家を伴う彼の王国を建造する道はなかったでしょう。啓1:5 忠信な証人、死人の中から最初に生まれた方、地上の諸王の支配者であるイエス・キリスト…私たちを愛して、彼の血によって私たちを罪から解放し、**6** 私たちを王国とし…てくださった方に、【水】

**III. 民数記が記録しているのは、どのようにして神の選ばれ贖われた民が祭司の軍隊へと編成されて、神と共に行程を行き、地上での神の権益のために神と共に戦うか**

**ということですか:****A.** 軍隊は、神の民が戦い、神が地上で立場を得て、彼の住まいを伴う彼の王国を建造することができるためです。出12:51 まさにその日、エホバはイスラエルの子たちを、彼らの軍隊ごとにエジプトの地から連れ出された。**13:18** こうして、神は民を、紅海に至る荒野の道に回らせられた。イスラエルの子たちは戦いのために隊列を組んで、エジプトの地から上って行った。

**B.** 民数記で、私たちは三つの事柄を見ることができます。すなわち、軍隊の編成、その軍隊の行程、軍隊の戦いです:**1.** 軍隊の編成は戦いのためでした。戦いは、軍隊が行程を行って、一つの場所にとどまらないことを必要としました。**2.** イスラエルの子たちは常に場所から場所に前進して、立場を得ました。それは、神が民を得て、彼らが彼の王国と彼の家のために建造されるためです。

**C.** 民数記第1章と第2章が啓示しているのは、イスラエルの子たちが軍隊へと編成されたのは、彼らが敵に包囲されていたからであるということです:**1.** 神の証しを護衛するために、この軍隊が必要でした。**2.** イスラエルの子たちは軍隊へと編成されて、神の証しを護衛するために戦うことができました:**a.** 民数記の絵によれば、軍隊は幕屋の周りに宿営し、幕屋が立てられた範囲、領域を護衛しました。

**b.** 神は荒野におけるイスラエルの子たちを、彼の証しのために戦う軍隊と見ていました。**c.** 一見して、イスラエルの子たちは彼ら自身のために戦っていましたが、実は、彼らは地上での神の証しのために戦っていたのです。なぜなら、彼らの間に証しの幕屋、すなわち、地上での神の住まいがあったからです。**3.** この戦いに二つの主要な機能が 있었습니다。それは敵と戦う機能と、幕屋を維持する機能です。幕屋は宇宙における神の証しを代表しました。【木】

**D.** イスラエルの家を戦う軍隊へと編成することで、私たちは創世記1:26~28に啓示された原則を見ます:創1:26 それから、神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう。そして彼らに、海の魚と空の鳥と家畜と全地と地を這うすべての這うものを治めさせよう」。

27 そして、神は人を彼ご自身のかたちで創造された。すなわち、神のかたちで人を創造し、男と女に彼らを創造された。

28 神は彼らを祝福された。そして神は彼らに言われた、「生めよ、また増えよ。そして地に満ちよ、そして地を従わせよ。そして海の魚と空の鳥と地上を動くすべての生き物を治めよ」。

1. 神は、団体の人が彼を代行して、サタンを強奪する手から地を従わせ、再び得ることを願っています。

2. 神はカナンと呼ばれる良き地をイスラエルに与えましたが、イスラエル人は神の敵の強奪する手からこの地を取らなければなりません。彼らは、すべての敵と戦って打ち破ることによって、地を得なければなりません。

E. 神の軍隊は、アモリ人の王シホンと、バシヤンの王オグを打ち破りました：1. アラデの王、アモリ人の王、バシヤンの王は、ヨルダンの東の「門衛」であって、サタンのためにカナンの地、すなわち暗やみの王国を護衛していました。

2. イスラエルの子たちは良き地へと入るために、これらの王たちによって治められていた領域を通過しなければならず、また彼らと戦い、彼らを破壊し、彼らの領域を占領しなければなりません。

3. これが表徴するのは、計り知れない豊富なキリストを享受するために、召会はこの王たちによって表徴される敵を打ち破り、彼らの領域を占領しなければならないということです。

エペソ6:10 最後に、主の中で、また彼の力強い大能の中で力づけられなさい。11 神のすべての武具を身に着けなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができるためです。【金】

F. 旧約の予表において、カナンには二つの面があります：1. 積極的な面で、カナンは豊富な地であり、計り知れない豊富を持つすべてを含むキリストを予表します。

2. 消極的な面で、カナンはサタンの王国の空中の部分、天上の部分を表徴します：a. サタンはこの世の支配者として、また空中の権威の支配者として、彼の権威、また彼の使いたちを持っており、この使いたちは彼の従属者、すなわちこの世の暗やみの執政者、勢力、支配者です。ですから、サタンは彼の王国、すなわち暗やみの権威を持っています。

エペソ6:12 というのは、私たちの格闘は血肉に敵対するものではなく、支配者たちに、権威者たちに、この暗やみの世の主権者たちに、天上にいるあの悪の霊の勢力に、敵対するものだからです。b. カナン人は、墮落した天使たち、サタンに従う反逆の天使たちを予表し、彼らはサタンの王国における勢力、支配者、権威となりました。

c. イスラエルの子たちがカナン人と戦って、良き地を所有し享受することが予表するのは、召会全体が、すべての肢体たちを含めて、霊的な戦いにあずかり、「天上にいるあの悪の霊の勢力」に敵対し、聖徒たちがすべてを含む地としてのキリストを享受するということです。

d. 召会はこのような団体的な戦士となって、サタンの空中の勢力と戦わなければなりません。それによって神の民は、キリストをさらに多く獲得し、キリストのからだを建造し、神の王国を設立し展開して、キリストが戻って来て地を受け継ぐことができるようになります。

啓11:15 第七の御使いがラッパを吹いた。すると、天に大声があつて言った、「世の王国は、私たちの主と彼のキリストの王国となった。彼は永遠にわたって王として支配される」。

G. 全聖書は私たちに一つの事を見せています。すなわち、神の意図は、軍隊へと編成された人々を得て、キリストを彼らの生活の意義、証し、中心、指導者、道、目標とならせ、前進して神のために戦わせ、それによって神が地上で立場を得て、これらの人々が建造されて彼の王国また彼の家となるようにし、新エルサレムにおいて究極的に完成することであるということです。【土】

## I. 高い福音 第七題目 キリストは霊である(下)

Iコリント 15:45 最後のアダムは、命を与える霊と成ったのです。IIコリント 3:17 そして主はその霊です。そして主の霊のあるところには、自由があります。

主の御名を呼び求めることによって、  
神が何であられるかのすべてを経験する

主イエスを信じて、その人の中にその霊が入ってきて、彼の内側で生きられます。IIテモテ 4:22 は、「主イエス・キリストが私たちの霊と共にありますように」と言っています。私たちは神を見いだすために、天に行く必要はありません。また彼に触れるために地上で巡礼に出る必要もありません。今、最も聖なる場所は私たちの霊です。電気が家に備え付けられれば、人がすべきことは、ただスイッチを入れることだけです。今日、その霊はこの宇宙に「備え付けられています—キリストはすべてのみわざを達成し、命を与える霊として彼は今あらゆる所におられます。私たちが、主の名を呼び求めさえすれば、いつでも私たちの霊は「スイッチ・オン」となり、神が何であられるかのすべてを経験することができるのです。

私たちはもう一つの例証を用いて、その霊の奥義を説明しましょう。ある夏の日、私は市場でスイカを買いました。そのスイカは大きかったので、やつのことで家に持ち帰りました。私の目的は、それを食べ消化することでした。食べるためには、まずスイカをスライスしなければなりません。さらに食べやすくするために、スライスしたものをジュースにしました。その大きなスイカはジュースになることによって、私にとって非常に享受のあるものとなりました。もともと神は天におられました。神は大きな切られる前のスイカに例えることができます。神はある日、一人の人となり、十字架につけられました。しかしそこで終わりませんでした。彼は死んだ後、復活して、その霊のかたちへと変貌されたのです。これはスライスにしたものをジュースにしたスイカと同じです。その霊はスイカ・ジュースのようです。このような過程を経て、神は私たちに届くようになりました。今日、私たちが礼拝する神は「切られていない」神ではありません。彼は「料理された」神です。言い換えれば、彼は手順を経られて命を与える霊となられたのです。今や、私たちは彼に到達するために汗を流したり、苦闘したりする必要はありません。彼は私たちに極めて享受のある近づきやすい方とされました。

今、私たちは無代価でその霊を自由に飲むことができる  
ヨハネの福音書 7 章で、祭りの最後の日、大いなる日に、キリストは立って言われました、「だれでも渇く者は、私に来て飲むがよい」。さらに続けてキリストは言われました、「私の中へと信じる者は、聖書が言うように、その人の最も内なる所から、生ける水の川々が流れ出る」。ここで、その霊は「生ける水の川々」に例えられています。キリストがこれらの言葉を語られた時には、この生ける水はまだありませんでした。なぜなら彼は死と復活を経ておられなかったからです。しかし彼の死と復活の後、その過程は完了し、今日その霊は生ける水としてここにあります。今、私たちはその霊から自由に飲むことができます。この生ける水は、完全に私たちの内なる渇きをいやします。

詩歌 371 キリストを経験する—その霊として

1. 主よ、なれはいまその霊、いのちあたえる霊；  
なが豊富を供給す、何とえいこうでしんせい！
4. 主よ、なれはいまその霊、わがれいに住まう；  
ふたつれい調和し、いちのなかで行どうする。

## Crucial Point①: 宇宙の意義は、

### 召会が団体的にキリストを大きく表現することである

OL1: 私たちは神のエコノミーにおけるキリストのビジョンを見ると、キリストご自身が宇宙の目的であり、私たちの人生の意義でもあることを認識し始めます。

コロサイ 1:15 御子は、見えない神のかたちであり、全被造物の中で最初に生まれた方です。16 なぜなら、万物は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、位も、主権も、支配も、権威も、すべて御子の中で創造されたからです。万物は彼を通して、彼のために創造されたのです。17 また、御子は万物より先に存在し、万物は彼にあってまとまっています。

OL2: 私たちの人生の意義は、神がキリストの中で私たちの中へと入り、私たちを通して表現されるということです。コロサイ 1:27 神は彼らに、異邦人の間にあるこの奥義の栄光の豊富がどんなものであるかを、知らせたいと願われました。それはあなたがたの内にもいますキリストであり、栄光の望みです。

私たちは主イエスのかたちに創造されました。これが意味するのは、私たちが彼に符合する方法で創造され、彼が私たちの中へと入って来ることができるということです。これが宇宙の意義です。宇宙の意義は、神が表現されることです。神が表現される所ではどこでも、宇宙が意義を持ちます。神が彼の表現を得られるのは主観的な方法においてであって、客観的な方法においてではありません。神は人の中へと入り、人を通して表現されることを願われるので、神は人をご自身のかたちに創造されました。これはとても特別なことです。あらゆる電球が光を放つのは、電気を表現するというただ一つの目的のためです。しかしながら、もし電気が電球の中へと伝達されないなら、電球はその存在意義を失います。私たちの人生の意義は、神が私たちの中へと入り、私たちを通して表現されるということです。宇宙の意義は、一組の人々が神を彼らの中へと受け入れて、彼らの内容となることです。ですから、救われるとは、意義のない人生から意義に満ちた人生へと、神によって救われることを意味します。今私たちは救われているので、自分の人生の意義を得ています。私たちの人生に意義があるのは、主イエスが私たちの中におられるからです。

あなたは救われる前、宇宙の目的を知っていたでしょうか？ また人生の意義を知っていたでしょうか？ 確かに、これらの事を知りませんでした。あなたは地上におけるあなたの人生の目的、あるいはあなたの運命が何であるかを知りませんでした。宇宙の目的もあなたの人生の意義も奥義でした。私たちはキリストに関するビジョンを受け、神の救いを経験してはじめて、宇宙の奥義と地上における私たちの人生の奥義を理解することができるのです。

### 中高生・大学生編

夜、空を見上げてみてください。天文学者たちの推定では、私たちの銀河系には一千億以上の星があり、この宇宙には何百億、何千億、あるいは何兆という数で銀河系が存在しています。私たちの太陽系には太陽を中心に、時計のように正確に太陽の周りを運行する九つの惑星があります。その惑星の一つである地球は、約時速 107,000 km/h というスピードで空間を進み、365 日かかって太陽を一周します。このスピードの 1000 分の 1 で走る高速電車がしばしば時間通りにいかないことを考える時、この事実は驚くべきことです。万物はキリストを通してキリストのために創造され、万物はキリストの中でまとまっています。

エペソ 1:4 は言います、「すなわち、この方は、愛の中で、…世の基が置かれる前から、キリストの中で私たちを選び」。

エペソ書は、召会、キリストのからだについての書です。この書において、あなたは世界の創造の前に選ばれました。宇宙が存在するのはキリストのからだである召会のためであり、あなたはその一部分です。無限に広がる宇宙の存在意義は、人が神を表現することです。このために全宇宙、全被造物は、神の子供たちが神を大きく表現することを待ち望んでいるのです。

ローマ 8:19 被造物は切なる期待をもって、神の子たちの出現を熱心に待ち望んでいます。21 それは被造物自身も、朽ち果てる奴隷状態から自由になって、神の子供たちの栄光の自由に入る望みがあるからです。

あなたが学校でキリストを表現することや召会生活の中で団体的にキリストを大きく表現することを、全被造物は熱心に待ち望んでいます。召会がキリストを団体的に表現することが、神のエコノミーであり、宇宙の意義であり、人生の意義です。最終的に召会は建造されて、全被造物を救います。

祈り: 「おお主イエスよ、私に宇宙の奥義、人生の奥義、神のエコノミーの奥義を啓示してください、感謝します。キリストが私の中に生きています。それは私がキリストを日常生活で経験し表現し、兄弟姉妹と共に召会を建造して団体的にキリストを大きく表現するためです。宇宙は私たちがキリストを大きく表現することを切に待ち望んでいます。召会はキリストを表現する責任を担うことができますように。主の御名の中で求めます。アーメン！ハレルヤ！」

### 奉仕と福音— 高い福音 補 809(中補 815)(英 1293)

- 1 私はひと、宇ちゆうの意義です。  
私はひと、宇ちゆうの意義です。  
そのように創造され、私は宇ちゆうの中心、意義です。
  - 2 キリスト、私の人生の意義。  
キリスト、私の人生の意義。  
わがうちに生きて、キリストはわが人せいの実さい。
  - 3 しょうかい、地じょうでの主の表現。  
しょうかい、地じょうでの主の表現。  
団たいのひととし、ご計かく成就し、全地を支はいす。
  - 4 地方召会、真のあたらしい家ぞく。  
地方召会、真のあたらしい家ぞく。  
キリスト食べ飲み、地方召かいとして建ぞうされる。
  - 5 われらは行き、ふく音を述べる。  
われらは行き、ふく音を述べる。  
地のひと弟子とす、この知らせを地にひろげましょう。
- 1 O I'm a man— I'm the meaning of the universe;  
Yes, I'm a man— I'm the meaning of the universe.  
God made me such, I am so much;  
I'm the center and the meaning of the universe.
  - 2 Christ lives in me— He's the meaning of my human life;  
Christ lives in me— He's the meaning of my human life.  
Yes, He's in me My all to be;  
He's the meaning and reality of my human life.
  - 3 The church is Christ— His expression on the earth today;  
The church is Christ— His expression on the earth today.  
This corporate man Fulfills God's plan,  
That this man may have dominion over all the earth.
  - 4 The local church— It's the new and real family life;  
The local church— It's the new and real family life.  
We have the way To live today—  
Eating, drinking Christ we're built up as the local church.
  - 5 What shall we do? We should go and tell the world of this.  
What shall we do? We should go and tell the world of this.  
Disciple all— This is our call.  
Let us go and spread the news abroad to every land.

## Crucial Point②: 軍隊へと編成されて神の権益のために戦う

OL1: 民数記第 1 章と第 2 章が啓示しているのは、イスラエルの子たちが軍隊へと編成されたのは、彼らが敵に包囲されていたからであるということです。

OL2: 戦いに二つの主要な機能がありました。それは敵と戦う機能と、幕屋を維持する機能です。幕屋は宇宙における神の証しを代表しました。

OL3: 神は、団体の人が彼を代行して、サタンが強奪する手から地を従わせ、再び得ることを願っているのです。神の選ばれ贖われた民は、軍隊へと編成されて、神と共に行程を行き、地上での神の権益のために神と共に戦う必要があります。創 1:26 それから、神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう。そして彼らに、海の魚と空の鳥と家畜と全地と地を這うすべての這うものを治めさせよう」。

イスラエルの家が戦う軍隊に形成されたとき、私たちは再び創世記第 1 章に啓示された原則を見ます。すなわち、神は、団体の人が彼を代行して、サタンが強奪する手から地を従わせ、再び得ることを願っておられます。神はカナンと呼ばれる良き地をイスラエルに与えましたが、イスラエル人は神の敵の強奪する手からこの地を取らなければなりません。彼らはその地を簡単に得ることができませんでした。彼らは少しずつ戦って、彼らの敵をすべて打ち破らなければなりません。戦いの目的、目標は、地を所有することでした。

民数記は、今日私たちが適用すべき重要な原則を持った書です。軍隊は今どこにあるでしょうか？ あなたはその軍隊の中にいるでしょうか？ これが問題です。今日、軍隊がないのは、建造がないからです。召会が建造されなければ、祭司の体系はなく、祭司の体系がなければ、軍隊はありません。

アラデの王、アモリ人の王、バシヤンの王は、ヨルダンの東の「門衛」であって、サタンのためにカナンの地、すなわち暗やみの王国を護衛していました。イスラエルの子たちは良き地へと入るために、これらの王たちによって治められていた領域を通過しなければならず、また彼らと戦い、彼らを破壊し、彼らの領域を占領しなければなりません。これが表徴するのは、計り知れない豊富なキリストを享受するために、召会はこれらの王たちによって表徴される敵を打ち破り、彼らの領域を占領しなければならないということです。神の選ばれ贖われた民によって打ち破られた王たちは、空中にある霊の勢力、支配者、権威を表徴します。今日私たちは、これらの力と戦い、それを打ち破る必要があります。

祭司の軍隊が聖なる戦いを遂行しているとき、神の選ばれ贖われた民は、神の住まい、証しの幕屋と証しの箱を担いました。これが示すのは、今日、召会生活の中で、私たちが神の証しと神ご自身を担っているということです。私たちの肩の上には神の住まいがあるだけでなく、住む方、神ご自身がおられます。召会が神の証しを担っている限り、召会は神の住まいです。実は、神の住まいは神の証しです。今日、この神の証し、この神の住まいは、私たちの肩の上にあります。

### 青年在職/大学院生編

日本には、「男が外に出れば 7 人の敵がいる」ということわざがあります。これは人が一旦家を出て会社に行くとさまざまな敵がおり、彼らに打ち勝たなければ会社で出世できないという意味です。このことわざは、在職青年が直面するある事実を言い当てており、またビ

ジネス・ライフが戦いであるという概念を提示します。

民数記の啓示によれば、私たちには 7 人の敵がいるだけでなく、さまざまな敵に包囲されています。これに対抗するために、あなたは軍隊へと編成され、神と共に戦わなければなりません。神戸に在る召会の 2019 年のスローガンは、「私たちは軍隊へと編成されて、神と共に行程を行き、地上での神の権益のために神と共に戦います。ハレルヤ！」です。

あなたはクリスチャン生活が戦いであることを認識してください。戦いにおいて絶対に避けなければならないことは、敵に包囲されることです。しかし今あなたは敵に包囲されており、大変な状況です。あなたはまず兄弟姉妹と共に軍隊へと編成されなければなりません。補充本詩歌 232 番は、この戦いのための 4 つのすばらしい備えを示しています。それは、「御子イエスの血、言葉、その霊、召会」です。

キリストを享受する一地を取る 補 232(中補 243)(英 1287)

- 1 地を取ろう！ 主があたえた地を。  
主わが生かつのすべて、  
地を取るためのそなえあり：血、ことば、その霊、しよ会。  
(復)(姉妹たち)地を取ろう！ 兄弟たちよ、主があたえた地を。  
つよくなり、えい光の地、いまかくとくしよ。  
(兄弟たち)地を取ろう！ 姉妹たちよ、主はせつ望される。  
主はまえをぜんしんし、ひつようそなえた！
- 2 血がある！ 主わがささげもの、  
ご自身かみにささげた。  
われらはめぐみの座に来て、日ごと血てきようする。
- 3 みことば！ ログスはしよくもつ、  
しん仰もて「アーメン！」と言う。  
レーマはわれらにかたつて、せいかつをちようせいす。
- 4 そのれい！ 主は実さいのれい、  
にくの感かくではない。  
ない住し、主のなかに住むよう、おしえ、実さいもたらす。
- 5 しょうかい！ すべてのせい徒が、  
地の所有のためひつ要。  
われらすべてふくむ主を得、主はわがすべてとなる。

例えばあなたの同僚たちの多くはあなたより学歴が高く、しかも彼らは制限なく残業して業務を行っています。あなたはこのような状況の中で、キリストと召会のビジョンによって引き上げられ、信仰によって「私たちは軍隊へと編成されて、神と共に行程を行き、地上での神の権益のために神と共に戦います。ハレルヤ！」と力強く宣言してください。

救われていない同僚たちは自分のために自分の努力によって 7 人の敵と戦っています。あなたは敵に包囲されているという点では彼らより窮めて厳しい状況にあるので、あなたが不安になるのは一面において当然なことです。しかし主を賛美します。あなたには血、言葉、その霊、召会があります。まずあなたは召会から決して孤立してはいけません。あなたを包囲している敵を打ち破るために、あなたはからだの中で軍隊として戦わなければなりません。そして自分の罪を告白して神の御子イエスの血を適用し、御言葉を祈り読みし、その霊で満たされるべきです。そうすれば主はあなたを勝利から勝利へと導かれます。

祈り:「おお主イエスよ、クリスチャンのビジネス・ライフは私たちを包囲する敵との戦いの生活です。この厳しい状況の中で、私は信仰によって主のすばらしい 4 つの備え、血、言葉、その霊、召会を取ります。私は軍隊の中で神と共に神の権益のために戦い、敵を打ち破ることができます。ハレルヤ！」